

「JR連合ビジョン」の実践と政策の推進を通じて、JR産業の持続的発展と組合員の幸せを実現しよう!



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
1部20円 (但し組合費に含む)
●発行所 荻山市朗 ●編集者 今井孝治

facebook
twitter

交運労協第36回定期総会 今こそ政策集団としての真価を

政労使対話での労働組合の必要性を連合が訴え



総会を終始リードした中山議長(左)

交運労協は、10月6日、都内にて、スローガンに「連携・協働・共創 交運労協の総力を結集し、コロナ禍における交通運輸・観光産業の危機的状況を突破しよう」を掲げ、第36回定期総会を開催した。会場は、ソーシャルディスタンスの確保等の感染症対策が施され、議長団にはJR連合から中山耕介組織部長を選出して議事を進行させた。冒頭、挨拶に立った住野敏彦議長は「コロナ禍に、以前より必要に迫られているが、困難な中、エッセンスを絞り、組合員一人ひとりに寄り添った政策を」と述べ、政府、対政府、対使用者、そして政労使という政策要請の枠組みが成立している。コロナ禍という非常に時に、このソーシャルディスタンスを必要としない手はない。

中山議長は、第36回定期総会を開催した。会場は、ソーシャルディスタンスの確保等の感染症対策が施され、議長団にはJR連合から中山耕介組織部長を選出して議事を進行させた。冒頭、挨拶に立った住野敏彦議長は「コロナ禍に、以前より必要に迫られているが、困難な中、エッセンスを絞り、組合員一人ひとりに寄り添った政策を」と述べ、政府、対政府、対使用者、そして政労使という政策要請の枠組みが成立している。コロナ禍という非常に時に、このソーシャルディスタンスを必要としない手はない。

中山議長は、第36回定期総会を開催した。会場は、ソーシャルディスタンスの確保等の感染症対策が施され、議長団にはJR連合から中山耕介組織部長を選出して議事を進行させた。冒頭、挨拶に立った住野敏彦議長は「コロナ禍に、以前より必要に迫られているが、困難な中、エッセンスを絞り、組合員一人ひとりに寄り添った政策を」と述べ、政府、対政府、対使用者、そして政労使という政策要請の枠組みが成立している。コロナ禍という非常に時に、このソーシャルディスタンスを必要としない手はない。

2020年「年末手当」要求及び妥結状況表 (10月26日現在)

単組名	2020年				2019年			
	要求日	要求内容	妥結日	妥結内容	要求日	要求内容	妥結日	妥結内容
JR北労組	-	-	-	-	10/31	2.5ヶ月12/13支払	11/30	2.025ヶ月12/13支払
JREユニオン	10/19	2.0ヶ月12/4支払	-	-	10/29	3.15ヶ月12/3支払	11/14	3.18ヶ月12/4支払
JR東海ユニオン	10/8	2.9ヶ月12/10支払	-	-	10/24	3.1ヶ月12/10支払	11/6	3.0ヶ月12/10支払
JR西労組	2/8	年5.7ヶ月	10/2(再交渉)	1.5ヶ月12/10支払	2/8	年5.7ヶ月	3/13	(年5.48ヶ月)2.74ヶ月12/10支払
JR四国労組	10/14	1.8ヶ月12/9支払	-	-	10/16	2.3ヶ月12/6支払	11/21	1.89ヶ月12/6支払
JR九州労組	9/30	2.5ヶ月12/10支払 55歳以上の加算措置	-	-	10/1	3.0ヶ月12/10支払 55歳以上の加算措置	11/22	2.51ヶ月12/10支払
貨物鉄道産労	2/14	3.15ヶ月以上(年4.9ヶ月で1.68ヶ月支給との差分)	-	-	2/14	2.75ヶ月(年4.9ヶ月で1.68ヶ月支給との差分)	11/14	1.81ヶ月12/6支払



神津会長をはじめとした連合側出席者から政府に対し、きめ細かな対応を要請

神津会長をはじめとした連合側出席者から政府に対し、きめ細かな対応を要請。神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

JR連合は、10月19日、厚生労働省内で開催された連合の「第4回労働政策対話」にJRの代表産別として参画し、コロナ禍の職場への影響や課題認識を説明するとともに、JRグループの産業、雇用、そして働く仲間の生活を守るために国の支援を要請した。

労働政策対話は、コロナ禍における社会対話を重視する連合が、新しい生活様式における働き方の課題の検討などを議題に、厚労大臣をはじめとする政府・関係省庁と意見交換の場として開催してきており、今回が4回目となる。連合より神津里季生会長をはじめ三

神津会長をはじめとした連合側出席者から政府に対し、きめ細かな対応を要請。神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

神津会長は「現場の生の声を聴く機会をいただき感謝。国交省として、交通・観光関係業界の皆様の声に基づき、政府一丸となって事業の継続と雇用の維持、地域の活性化のために取り組むべき」と述べた。

連合第4回労働政策対話 長期化するコロナ禍の影響への支援を訴え JR代表産別として厚生労働大臣らと

JR連合は、10月19日、厚生労働省内で開催された連合の「第4回労働政策対話」にJRの代表産別として参画し、コロナ禍の職場への影響や課題認識を説明するとともに、JRグループの産業、雇用、そして働く仲間の生活を守るために国の支援を要請した。



厳しい経営状況説明する神津会長

全組合員・家族と多くの仲間の署名をお願いします 厳しい局面を乗り越え 将来にわたって持続可能なJR産業を実現するために!

1. 雇用調整助成金の特例措置を新型コロナウイルス感染症収束まで継続
2. 固定資産税をはじめ公租公課(税・社会保険料)の負担軽減措置を延長・拡充
3. JR北海道・JR四国・JR貨物の経営自立に向けた支援

JR産業はかつてない厳しい経営状況に置かれ、鉄道・バスの輸送量は急激かつ大幅に減少し、ホテルや飲食、物販、船舶、旅行業などで、深刻な影響が続いています。働く仲間は将来に対する不安を抱え、こうした厳しい経営状況が長期化すれば、JR各社の経営体力の急速な低下により、JR産業が求められている社会的使命を果たし続けることが極めて困難となります。

今後も、基幹インフラとして役割を全うできるよう、経営自立の果たせていないJR北海道・JR四国・JR貨物への助成が期限切れになる節目を迎える次年度以降の展開を含めて、JR7単組、グループ93単組の全組合員と家族はもとより、JR連合に加入されていない職場の仲間も含め、署名活動を展開しています。

厳しい局面を乗り越え、将来にわたって持続可能なJR産業へ!
~JR産業に関する緊急政策課題の解決を求める署名~

新型コロナウイルス感染症拡大とJR産業の厳しい状況

2020年11月

JR産業はかつてない厳しい経営状況に置かれ、鉄道・バスの輸送量は急激かつ大幅に減少し、ホテルや飲食、物販、船舶、旅行業などで、深刻な影響が続いています。働く仲間は将来に対する不安を抱え、こうした厳しい経営状況が長期化すれば、JR各社の経営体力の急速な低下により、JR産業が求められている社会的使命を果たし続けることが極めて困難となります。

今後も、基幹インフラとして役割を全うできるよう、経営自立の果たせていないJR北海道・JR四国・JR貨物への助成が期限切れになる節目を迎える次年度以降の展開を含めて、JR7単組、グループ93単組の全組合員と家族はもとより、JR連合に加入されていない職場の仲間も含め、署名活動を展開しています。

署名欄

氏名	住所
1	
2	
3	
4	
5	

日本鉄道労働組合連合会(JR連合)



産業を越えた 働く仲間との連携の輪を広げ

10月22日、都内にて、航空連合と産業・労働政策に関する意見交換会を開催した。両産別とも、コロナ禍の影響が顕在化して以降、繰り返し政界や国土交通省をはじめとする関係省庁に、それぞれ産業の危機を訴え、支援を求める要請行動を展開してきた。また、連合や交通労働協会の機関会議の場などで情報発信することで、連合では第4回労働政策対話へのは問違いないもの、交通

冒頭、自動車連絡会の西原一英代表幹事（JR西労組西バス本委員長）が挨拶に立ち「初めての一時帰休を余儀なくされ、今も極めて厳しく、特に高速バスや貸切バスが深刻。まずは

需要回復のためにバスの安全性を示すことが重要。また、高速バスは生活路線だと考えるが、明確な位置付けがない。公共交通ネットワークとしての視点を持ってバス産業のあり方を議論しなければならぬ」と現下の情勢に鑑みた対応の必要性と今後の社会への適応について考えを述べた。また、

JR連合は「今までは人手不足にあえていたバス産業もコロナ禍で一変した。エッセンシャルサービスであることから、この難局を乗り切ることと魅力ある

産業にまでは恩恵が行き渡っていないのではないかという課題認識を共有した。そして、GOTOトラベルの狙いが地域の活性化にあるのであれば、ビジネス需要を喚起する政策活動の必要性が提起された。また、交通産業のビジネスモデルの変革というテーマでは、ピーク需要の平準化や東京一極集中の是正といった政策を推進し進

うテーマでは、ピーク需要の平準化や東京一極集中の是正といった政策を推進し進

めるべきであり、そのためにも社会における理解を促すべく、国や利用者への働きかけを図っていくことが必要との認識で一致した。次に、労働政策の観点では、2021年春季生活闘争の方針をいかに加盟単組とともに築き上げていくかというテーマについて、意見を交わした。双方の産業が極めて厳しい経営状況にある一方で、離職防止や本体会社とグループ会社間の格差是正のために必要とされる春季生活闘争のあり方など、考慮すべき要素は多々ある中で、JR連合としては「中期労働政策ビジョン」を軸に働き方の見直しも含めて提起していくことの重要性を決定して述べた。今後JR連合は、こうした産業を越えた働く仲間との連携の輪を広げ、JR産業として交通運輸産業の明るい将来展望を切り拓いていく。

自動車連絡会第28回総会 JRバス産業の持続的な発展に向けて

安全・安心なエッセンシャルサービスで

10月12日、JR連合自動車連絡会（名古屋市内）において、第28回総会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として入口で手指消毒、検温等を行い、



バス安全性を訴える西原代表幹事

冒頭、自動車連絡会の西原一英代表幹事（JR西労組西バス本委員長）が挨拶に立ち「初めての一時帰休を余儀なくされ、今も極めて厳しく、特に高速バスや貸切バスが深刻。まずは

需要回復のためにバスの安全性を示すことが重要。また、高速バスは生活路線だと考えるが、明確な位置付けがない。公共交通ネットワークとしての視点を持ってバス産業のあり方を議論しなければならぬ」と現下の情勢に鑑みた対応の必要性と今後の社会への適応について考えを述べた。また、

JR連合は「今までは人手不足にあえていたバス産業もコロナ禍で一変した。エッセンシャルサービスであることから、この難局を乗り切ることと魅力ある

テーマに国交省自動車局総務課企画室の星明彦室長から説明を受け、この間の各職場における現状について意見交換し、課題認識の共有を図った。

翌日は、午前中にJR東海バス名古屋支店、午後には名鉄バスセンター・名鉄バス名古屋中央営業所の施設見学及び意見交換を実施した。名鉄バスにおいては、私鉄総連加盟の名古屋鉄道労働組合及び同自動車支部の全面的な協力によって、コロナ禍にも関わらず訪問することが実現でき、有意義な機会となった。

自動車連絡会はバス産業の危機的状況を乗り越え、魅力あるバス産業を構築すべく、JRバス労働者の総結集を果たし、一丸となって取り組むことを意志統一した。

JR連合 ふれあいキャンペーン グループ労組めぐり

～全国の仲間を支援しよう～

私たちは2000年2月1日に結成し、今年20年を迎えました。組合員数は女性が3分の2以上を占めており、執行部7人中3人、役員17人中12人と女性が活躍している労働組合です。

当社はJR西日本の「食」を預かるグループ会社です。営業内容は、近畿2府3県（京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県、奈良県）の駅構内及び市中で、レストラン・喫茶・麵包・駅弁

販売店を直営93店舗、テナント98店舗合わせ191店舗の運営を実施し、組合員とのコミュニケーションを図り組織の強化に努めております。また、非正

事業としてトワイライトエクスプレス瑞風、山陽新幹線車内サービス・販売（大阪・岡山・広島・博多）の運営を行っております。

店舗事業においては、「笑顔」で「細かい気遣い」など気持ちの良い接客とサービスを心掛け「落ち着きがあり」「活気が有り」「やすらぎの有る」空間作りをめざし、列車事業ではお客様一人ひとりに接し、わかりやすく「お料理」「商品」の説明をして車内で快適に楽しんでもらうよう、様々な取り組みを行っています。

列車事業の営業所が博多・広島・岡山と遠隔にあり、各職場の把握が課題でしたが、遠隔の営業所には一昨々年支部を立上げ、アンケートの実施や職場集会を開催し、組合員とのコミュニケーションを図り組織の強化に努めております。また、非正

ジェイアール西日本フードサービスネット労働組合

規社員が正社員数の3倍以上となり、未組織労働者の組織化を精力的に行い、誰もが安心して働くことができる会社にするための運動を展開しています。

現在、売上はコロナ禍の影響で50%から60%の間を推移しています。このような局面で「変えなければいけないこと」「変えてはいけないこと」を正しく見定めることは非常に難しいことですが、「より良い」と思えることに一つずつ取り組み、前に進んでいきたいと思っております。ともに頑張りましょう。

JR西日本連合

IR西日本グループ労働組合連合会

民主化の展望を 切り拓くべく運動を

北海道地方協議会第2回定期委員会

JR連合北海道地方協議会は、10月10日、札幌市内において、第2回定期委員会を開催した。本委員会では、今年度の活動方針を決定するとともに、新役員体制を確立した。JR連合からは中村交通政策部長が出席し、JR二島・貨物経営

「政策提言・中間とりまとめ」について説明し、今後の支援実施を通じた経営自立に向けて、署名活動等の取り組みに対する理解を深めつつ、政策実現への決意を共有した。

冒頭、挨拶に立った昆弘美議長（JR連合副会長・JR北労組中央執行委員長）は、現在取り組んでいる署名活動について「自分たちの会社だけでなく、JRグループ全体が生きていくために必要と取り組みであり、積極的

に展開していくことを求める。こうした取り組みを通じてJR連合の政策実現能力の高さを広く知らしめていくことが、ひいては組織課題の解決にも繋がる」と意義を訴えた。さらに、安全・春季生活闘争・政治について所感を述べ、「地協の役割は、互いの情報や意見を交換しながら、今後の運動に活かすこと」と本委員会への積極的な参加を要請した。

議事では2020年度運動方針案が提起され、それぞれの課題認識等について意見交換が行われた後、運動方針が満場一致で承認された。また、昆議長、菊地克敏副議長を再任し、新たに人見圭一事務局長を選出した。

最後に、委員会宣言を採択し、新年度の運動をスタートした。

交通共済 ニューズ

みんなで暮らしをガード

交通共済 (JR職域生協)

全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

守るのは あなたの家族とマイホーム

家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済

JR連合の政策実現能力の高さを広く知らしめていくことで諸課題解決へ

JR連合の政策実現能力の高さを広く知らしめていくことで諸課題解決へ

JR連合の政策実現能力の高さを広く知らしめていくことで諸課題解決へ